

# Microsoft® Windows® 2000 DSP モデルを お使いの方へ

このたびは、弊社の CELSIUS R610 (以降、本ワークステーション)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ここでは、

- －Microsoft® Windows® 2000 (以降、Windows® 2000) のセットアップ後の設定について
- －『CELSIUS マニュアル』<sup>(注)</sup>の読み替えのお願い

を記載しています。

本ワークステーションをお使いになる前によくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

注:『CELSIUS マニュアル』からハードウェア関連の情報を抜き出して PDF 形式にしたものが『ハードウェアガイド』、またソフトウェア関連の情報を抜き出して PDF 形式にしたものが『ソフトウェアガイド』です。

## Windows のセットアップ後に、必ず次の設定をしてください

『取扱説明書』をご覧ください、セットアップしてください。その後、必ず次の設定をしてください。

### ■ Windows Update を実行する

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるサポート機能です。

「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新、修正できます。

また、最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくするための対策もされます。なお、「Windows Update」で提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作を保証するものではありません。

#### POINT

- ▶ Windows Update はシステム管理者の指示に従って行ってください。システム管理者は以下の点にご注意ください。
  - ・「重要な更新」については、適用されることをお勧めします。
  - ・「ドライバの更新」は適用しないでください。ただしお客さまが追加されたデバイスについてはお客様の判断で適用してください。
  - ・自動更新機能を使うと、Windows Update を自動的に行う設定をすることができます。設定方法については、Windows のヘルプをご覧ください。出荷時は「コンピュータを常に最新の状態に保つ」が ON になっています。必要に応じて設定を変更してください。

### Windows Update を実行する

1. 「スタート」ボタン→「Windows Update」の順にクリックします。  
「Windows Update」の画面が表示されます。
2. 「更新をスキャンする」をクリックします。
3. 「更新の確認とインストール」をクリックします。  
更新情報のリストが表示されます。

#### POINT

- ▶ インターネットへ情報を送信するにあたっての注意事項が表示されたら、「はい」をクリックします。

4. 内容を確認し、更新したくない項目がある場合はその項目にある「削除」をクリックします。  
通常は、「重要な更新」についてはすべての項目を更新することをお勧めします。
5. 「今すぐインストールする」をクリックします。  
修正プログラムがインストールされます。  
更新が完了します。

#### POINT

- ▶ ほかの修正プログラムとは別にインストールが必要な修正プログラムがあると表示されたら、画面に従って進みます。インストール終了後は再度手順 1 から「Windows Update」を実行します。  
修正プログラムの使用許諾契約が表示されたら、内容を確認し、「同意します」をクリックします。  
Windows の再起動を要求する画面が表示されたら、「OK」をクリックして再起動します。

## ■ SCSI ドライバのバックアップについて

対象機種: カスタムメイドで SCSI HDD を選択した場合

Windows2000 を再インストールするときは、あらかじめ SCSI ドライバのバックアップディスクを用意しておく必要があります。必ず作成してください。

バックアップディスクの作成方法は『CELSIUS マニュアル』の「ソフトウェア」-「ドライバ」-「ドライバのバックアップ」をご覧ください。

## 『CELSIUS マニュアル』読み替えのお願い

『CELSIUS マニュアル』には、Windows 2000 DSP モデル用の記載がありません。次のように読み替えてください。

### ■ Windows 2000 Service Pack4 へ読み替え

本ワークステーションには、Service Pack4 が適用されています。

「Service Pack3」と記載された箇所は、「Service Pack4」と読み替えてください。

なお、「ソフトウェア」-「ソフトウェア一覧」-「各ソフトウェアの紹介」に記載されている Service Pack3 のインストール方法は適用されません。また、Service Pack4 はアンインストールできません。

### ■ 再インストールへ読み替え

本文中の「リカバリ」と記載された箇所は、「再インストール」と読み替えてください。

### ■ DirectX9.0a へ読み替え

本ワークステーションには、DirectX9.0a がプレインストールされています。

「DirectX8.1b」と記載された箇所は、「DirectX9.0a」と読み替えてください。

### ■ Sonic RecordNow について

「VERITAS RecordNow DX 4.11」が「Sonic RecordNow DX」に変更になっています。

### ■ ファイルシステムの概要の読み替え

「機能」-「ドライブ関連」-「ファイルシステムについて」-「ファイルシステムの概要」を次のように読み替えてください。

「出荷時のハードディスク上のシステムドライブは FAT32 でフォーマットされています。

また、再インストール時にも、ファイルシステムの選択 (FAT32 または NTFS) を行うことができます。

再インストールについては、添付の『取扱説明書』をご覧ください。」

### ■ ハードディスク内のデータ消去方法の読み替え

「ソフトウェア」-「ソフトウェア一覧」-「各ソフトウェアの紹介」-「ハードディスクデータ消去」の方法を次のように読み替えてください。

#### ● 必要なもの

- ・ ハードディスクデータ消去フロッピー

#### POINT

- ▶ ハードディスクデータ消去フロッピーは次の手順で作成することができます。

1. MS-DOS 起動フロッピーを用意します。

MS-DOS 起動フロッピーがお手元にはない場合は、添付の「Windows 2000 Professional CD-ROM」の  
¥valueadd¥3rdparty¥ca\_antiv¥makedisk.bat から、MS-DOS 起動フロッピーを作成することができます。

2. 「ドライバズ CD」と MS-DOS 起動フロッピーをセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]: ¥other¥hdclear

5. 「hdclear」フォルダが開きます。
6. 「hdclear」フォルダ内の「hdclear.exe」を、MS-DOS 起動フロッピーにコピーします。
7. 「ドライバズ CD」と MS-DOS 起動フロッピーを取り出し、本ワークステーションの電源を切ります。

● ハードディスク内のデータを消去する

1. ハードディスクデータ消去フロッピーをセットして、本ワークステーションの電源を入れます。

「InoculateIT Antivirus AVBoot バージョン 1.1」が表示されます。

キーボードの選択画面が表示された場合は、【半角／全角】キーを押します。

2. 【3】キーを押した後、次のように入力し、【Enter】キーを押します。

hdclear.exe

注意事項が表示されます。

この後は、メッセージに従って操作してください。

3. 「データ消去が完了しました。」と表示されたら、ハードディスクデータ消去フロッピーを取り出し、本ワークステーションの電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切ります。

■ お問い合わせ先の変更等について

『CELSIUS マニュアル』で、お問い合わせ先を「弊社担当営業員または担当保守員」とご案内している箇所は、それぞれ次のように読み替えてください。

- ・「本書をお読みになる前に」－「本書の表記」
- ・「トラブルシューティング」－「それでも解決できないときは」－「お問い合わせ先」  
→「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・上記以外  
→「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。  
その他の各製品は、各社の著作物です。